

令和 7 年 2 月市長定例記者会見

日時：令和 7 年 2 月 3 日（月） 午後 1 時 3 0 分～

場所：射水市役所会議室 4 0 1

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、射水 CATV、
庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、財務管理部長、企画管理部次長、生涯学習・スポーツ課長、
観光まちづくり課長

Q 1. 地おこフェスティバルでは、アランマーレ富山のパブリックビューイングも開催するとのことだが、今後もハンドボール・リーグを盛り上げる企画は予定されているか。

A 1. 地域おこし協力隊が力を合わせて、射水を盛り上げようということで地おこフェスティバルを初開催する。その中の企画として、アランマーレ富山をパブリックビューイングで応援するもの。地域おこし協力隊の様々な取組は、それぞれで企画しているが、今回は皆さんが協力して実施する。直近で新たに開催する予定はないが、今後も協力してこのようなイベントを行っていただければと思う。

また、パブリックビューイングは地域おこし協力隊の事業に関わらず、今後アランマーレ富山の取組などで企画されるのではないかと考えている。

Q 2. いみず宿泊割キャンペーンについて、市長はどう期待されているか。

A 2. 宿泊事業者や周辺の飲食店から、1 年の中で 2 月から 3 月上旬は集客が落ち込み、営業が非常に厳しい時期と伺った。加えて、物価や電気料等の高騰で苦勞されているため、応援させていただきたく議会にお諮りし、速やかに実施した。

非常に予約が好調で、私どもも喜んでいる。ぜひ多くの皆さんにご利用いただき、宿泊施設や周辺の飲食店を応援いただければありがたい。

Q 3. 人気があつて予約受付を終えた宿泊施設の枠に、予約が入っていない部分を回すことはあるのか。

A 3. 予約状況は、観光協会のホームページなどで迅速に掲載しているため、予約の際は確認していただきたい。なかなか予約が埋まらない枠を人気のあるところに振り替えるかどうかは、状況や参加事業者の意見を考慮することになる。今後の対応についてはホームページなどをご確認いただきたい。

Q 4. 液状化対策や公費解体について、先月の会見時からスケジュール等、状況が変わったところはあるか。

A 4. 液状化対策は、現在、国の支援を受けながら、ボーリング調査等の分析・解析を行っており、それを踏まえた対策方法や範囲などの検討を行っているところだ。分析・解析の内容は、大体3月上旬ぐらいに正式に出ると考えており、3月末を目途に液状化対策の方針を決定し、事業着手に向けて住民説明会など開催していきたいと考えている。

公費解体は、解体対象が137件で、そのうち修繕が24件、解体予定は113件である。解体の申請は96件受けており、相談中は17件だ(1月29日時点)。数が多いため、解体完了は9月末頃と見込んでいる。解体業者の協力をいただきながら進めており、様々な相談も受けている。

Q 5. 公費解体の相談17件はどのようなところで行き詰まり、申請されていないのか。

A 5. 解体か修繕かで迷っている方や相続の対応が不十分で、解体に向けて了承を取るための手続きを行っている方がいる。それぞれ様々な事情を抱えており、相談に対応している。

Q 6. 修繕か解体かで迷っている人もいるということは、最大解体予定113件よりも減る可能性があるのか。

A 6. 未申請の中には、状況を見ながら解体ではなく修繕を選択する方もいる可能性がある。ただし、話を伺っている状況では、解体予定だと思われる。

Q 7. 公費解体の発注や契約に関して、他市では県の構造物解体協会を介し、解体業者を契約すると聞いたが、射水市はどのような形で解体業者と契約

するのか。

A 7. 射水市はこれまで通常の建物解体において、市内事業者を対象に入札をしている。現在、公費解体についても市内の事業者を対象として入札業務を行っており、市外業者の協力をお願いしているわけではないと認識している。

Q 8. 埼玉県八潮市の下水道が原因と思われる事故を受け、下水道管の点検を改めて緊急的に行ったり、対策を予定されたりするのか。

A 8. 埼玉県八潮市での大変痛ましい道路陥没事故について、連日悲惨な現場が報じられている。同様のことが市内においても起こるのではないかと不安をお持ちの市民もいるのではないかと考えている。

現在、射水市内では、市が管理している大口径の下水管はない。県が管理しているものの中で、2 mくらいのものがいくつかあると思っているが、県で調査すると知事からお話があったと聞いている。

射水市では、毎月下水道施設の定期パトロールを行っている。道路管理者と連携を図り、道路陥没などを情報共有し、損傷劣化が見られる箇所は管路点検をして修繕などを行っている。また、老朽化した下水道施設は、計画的に更新を行ってきている。修繕しながら定期的に管内部の点検なども行い、状況確認に努めている。

Q 9. 下水道管の耐用年数は50年とのことだが、射水市内で50年を超えたものはあるか。

A 9. 市内で一番古いものは昭和44年に整備したものだが、大口径のものではない。老朽化している箇所は、定期的に管路にカメラなどを入れ状況把握に努め、計画的な更新も行っている。

Q 10. 災害関連死について、動きはあるか？

A 10. 災害関連死の状況は、検討委員会を設置し、相談を受けるなど適切に対応してきている。今後もしっかり対応していきたい。

Q 1 1. ウクライナ戦争が始まり 3 年になるが、市では支援策を全て継続するのか。

A 1 1. 現状は継続している。今後は、再度内部でしっかり協議・検討していく必要があると思っている。既に生活基盤も築き、勤めている方もおられる。それぞれの状況など、改めて確認し、継続も含めて検討していくことになると思う。今の現段階で明言はできないが、適切に対応していきたい。

Q 1 2. 昨年秋に観光協会で実施した、インバウンド向けの内川ナイトクルーズと獅子舞セットのモニターツアーを本格導入するのか。

A 1 2. ニーズがあれば、海外旅行者向けの旅行商品を作っている旅行者、場合によっては海外の旅行者と協議するが、現状は状況を見ながら対応していくことになる。射水市の魅力ということで楽しんでいただける機会ができればいいと思っている。

Q 1 3. 富山市が「2025年に行くべき52か所」に選ばれたが、射水市も観光客を呼ぶ企画はあるか。

A 1 3. ニューヨーク・タイムズが報じた「2025年に行くべき52カ所」に富山市が選ばれたということで、注目度も高まってきていると思っている。ワンチームとやま会議でもお話ししたが、この機会にぜひ周辺の市町村・富山県全体で魅力的な場所を多様なコンテンツで広報し、旅行に来られた方々に興味を持っていただき、訪れてもらえるような情報発信が必要だと思っている。例えば、検索したら引っかかって見られるような取組、各種サイトでモデルコースを示すなど、広域的な取組になると思うが、県でやっていただきたい。射水市でも観光協会と連携をしながら、魅力を情報発信していきたい。

Q 1 4. 明日（4日）からの大雪について、公共施設の休館やべいぐるんの運休はあるか、また市民に呼びかけたいことを教えていただきたい。

A 1 4. 気象情報では、かなり雪が降るとのことだ。ただ、警報級になると気

象庁や国土交通省からの情報提供はまだない。急な状況の変化、想定以上の大雪が降る可能性も否定はできないため、十分に警戒していただきたい。

市としては、除雪体制・監視など万全の体制をとりながら対応していきたい。ホームページ・公式LINE など様々な媒体でお知らせしていくので、注視していただきたい。